平成２８年度　平和学習

今日，８月９日は７１年目の長崎原爆の日でした。校長先生の講話のあと，『「あの日ーこの校舎で」～五十年前に被爆したナガサキの記憶～』を体育館で視聴しました。暗幕を閉め切った体育館の中は大変暑いものでしたが生徒達は真剣な面持ちで画面に見入っていました。先日アメリカ大統領として初めてオバマ氏が広島を訪れ、世界が少しずつながら核廃絶と平和な社会の実現に向けて動いて行きつつある中、戦争のことを本や映画の中でしか知らない若い人たちが核兵器の恐ろしさを再認識してくれたことは大きな成果であり、感想文にもそのことがよく現れていました。その後生徒達は教室に戻り、原爆が投下された時刻である午前１１時２分に黙祷を捧げ、７１年前、犠牲になった多くの方達の冥福を祈りました。以下は生徒の感想です。

３年・Ｉさん

今日の DVD は悲惨な写真や映像ばかりで、正直見ることができない場面がいくつかありました。実際に原子爆弾で被爆された方の話を何人もの方から聞いて、生々しい惨状が想像できました。今でも放射線の影響で苦しんでいる方や、当時のことをお話しされる時に涙を流す方など、原爆の恐ろしさがよくわかる内容でした。これまで小学校や中学校で行われていた平和学習や平和集会で学んできた、原爆が投下されたときの状況やその時の人々の様子などは今でもしっかりと頭の中に残っています。小学校では平和集会で、実際に被爆された方をお招きして講話を聞かせていただいたこともありました。そのような経験をしっかりと自分のものにし、子供達に伝えていけるようにしたいです。将来は保育士か小学校教諭になりたいと考えているため、子供達に教える側として原爆の恐ろしさを伝えていきたいです。

２年・Ｈさん

今日、８月９日、７１年前の１１時２分、長崎に原子爆弾「ファットマン」が落とされました。今回のＤＶＤでは当時の状況を知る人たちの声を聞くことがでました。

最初の方は原子爆弾が落とされた直後の長崎の風景が流されていて、それは直視できないほど残酷なものでした。当時生き残った人たちも、放射線の影響でその後被ばくされた方も多いようでした。救護施設となるところも小学校などで、ベッドなどなく、治療するにも薬品や道具がないから申し訳ないけれどお湯などで消毒をしていたとおっしゃっていました。その他の方も知り合い・友人を亡くしてしまって泣きながら語っていた方もおいでになりました。

私達長崎県民は小中学校生の頃から平和とは何か、戦時中の日本や世界について学習をしてきました。広島県も同じだと思います。被害者である日本、加害者である日本、どちらの顔の日本を学習して来たからこそ戦争がこの世から無くなって欲しいと強く思います。

１年・Ｍ君

今回の平和学習では中学の時と同じように被爆者の方のお話を聞いたり、ビデオを見たりすると思っていました。実際、今回の平和学習ではビデオを見ましたが、今まで見てきた内容よりも原爆の被害の恐ろしさやつらさがわかるものだったと思います。僕がそう感じたのは、ビデオの中で被害を受けた方々や亡くなってしまった方々の写真を見たためです。思わず目をそらしてしまいそうになるほどひどく、このようなことが昔あったのかと信じられないほどでした。今まで見たことのなかったほどの生々しさに、原爆も戦争も起こしてはいけないものだという思いが強くなりました。また、今では戦時中と違い安定した生活をすることができ、きちんと食事をすることができます。その当たり前のようなことでも以前より感謝していきたいと思います。